

施策評価シート

1 総合計画上の位置づけ

担当課：企画広報課

施策名	41 行財政改革・行政評価
政策名	持続可能な行財政運営を行う
施策がめざす 将来の姿	・限られたざいげんと人材を有効活用する改革や、中長期的な視点でチャレンジする改革などが進められています。 ・行政評価の結果を活用し、事務改善や企画立案に反映させることで、事業効果が高まっています。

③ 施策評価指標

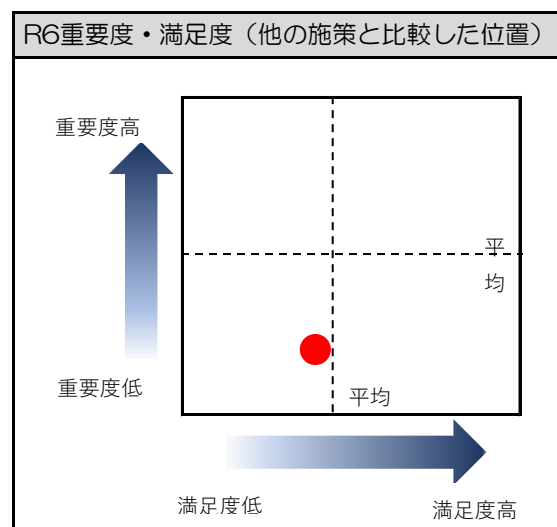
成果指標名	単位	後期当初値	令和9年度目標		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和6年度
122

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和5年度		令和6年度
86.0	➡	87.9

※増減（→）の基準は3ポイント以上とする



4 施策の課題と今後の方針

(施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。)

これまでの行財政改革の取組の課題としては、各取組項目について担当部署で個別計画が策定されていること、個別に審議会等設置されている項目があること、市民に対する取組より職員に対する取組が多くなってきていること、総合計画にも掲載され重複して進捗管理している取組があることなどが挙げられます。

事業の効率化、財源確保、人員整理などこれまでに主だった行財政改革を実施してきており、今後、関市として取り組む行財政改革のあり方について検討していきます。

行政評価については、評価が事業のスクラップ＆ビルドに繋がっていない課題があり、今後事業見直しを進めていく際に、行政評価の目的、手法についても見直しを検討していきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

(右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。)

事務事業①：企画調整事業

R6決算額 (千円)	重点化(縮小)する細事業 (主なもの2事業まで)	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
15,095	地域活性化企業人登録	廃止	完了	当該制度を活用して事業を実施する担当課にて予算計上し、外部人材の活用を図ります。	